

ふくし ふれあい CONTACT WITH WELFARE

2006
AUTUMN
初秋号
No.38

発行 熊本県労働者福祉協議会
事務局 熊本市九品寺1丁目17-9

発行者 河瀬和典
熊本県労働会館内 TEL 096-372-0915

編集者 梅木一美
FAX 096-372-0600

地域を拠点としたワンストップサービスの確立を (総合生活支援サービス体制) 中央労福協の研究集会、今後の活動の方向性示す

中央労福協主催の 年度全国研究集会が、月～日、札幌市で開かれ全国から 人が出席しました。

今回の開催目的は、①格差社会の進行など、大きく変わる日本社会の実態を改めて見つめながら、私たちが目指すべき社会とはなんなのか。世紀にふさわしい政策とはどうあるべきなのか。こうした問題意識を持ちながら、世界的な視野から学ぶ。②年度の重点活動である「全国の都道府県における地域を拠点としたワンストップサービス（総合生活支援サービス体制）の確立」について、できるだけ速く立ち上げるために、先進的な地方労福協の紹介をもとに全体で経験交流を図る、ことでした。

世界的な視点を学ぶ

冒頭、主催者を代表して中央労福協の笹森会長が「これからの地域運動の展開にあたり、私たち全国ネットワークをもっているそれぞれの組織が支え役とならなければならない。その拠点となるのが労福協であり、ワンストップサービス活動」だと述べました。



▲講演する岡沢憲実教授



▲講演する寺島実郎氏

1日目は、三井物産戦略研究所所長で、日本総合研究所会長の務める寺島実郎氏が「世界と日本—企業および労働組合の進路」と題して講演。世界の情勢、日本の社会構造の変化の実態の分析に始まり、日本のこれからのあるべき進路について、グローバルかつ多岐にわたる視点から提起しました。

続いて、早稲田大学社会科学部の岡沢憲実教授が「世紀型福祉社会の構築—少子高齢化にどう政策対応するか—」と題して講演。世紀はますます多様性が大きくなっている時代であり、変化と変動の時代であることを前置きしながら、スウェーデンの労務・福祉の実態の紹介と日本との比較を挙げながら、これからの日本を考えるにあたっての示唆がなされました。

2部構成で開く

2日目は、2部構成でおこなわれ、まず第1部では「ワンストップサービスの確立に向けたネットワークづくりへのスタンス」というテーマで、連合、労金協会、全労済、地域創造ネットワーク・ジャパンの各代表から報告。

■社会運動としての地域労働運動の強化の一環として、ワンストップサービスの確立を図っていく 連合本部。

熊本から6人が参加 リポーター 梅木一美 事務局長

■今、私たちが持っている様々なサービスの提供を中心に参画していきたい労金・労済。

■この取り組みは日本社会を揺り動かしていく一つの始まり、力を合わせ連携して行動を 地域創造 薩煎ジャパン。

そして今回のネットワークづくりに対して、それぞれの団体の立場から一層連携を深め、勤労者の暮らしに関われサポート体制を作り上げていきたいという表明がおこなわれました。

先進県の取り組みに学ぶ

次に全国の中で先進的に取り組んでいる4つの地方労福協が、経過や現状、様々な課題を報告しパネルディスカッションをおこないました。

石川県は、これまでを見直し活動主体を現役、退職者、一般市民で構成していると報告、静岡県は各団体の自前主義を一旦封印し、資金、人材、ノウハウを生み出し、薩煎との協業も始めることで準備中と報告。山口県は、活動してみても県民のニーズは十分ある、行動すれば道は開けると報告。沖縄県はできるところからやる、外部の力を取り入れていくこと、必要な財源は自分たちで稼いで事業をおこなっていくことが解決の道と報告。特に山口県の「始める前はいろいろ不安や心配があったが、始めて本当に良かったと思う」の言葉を改めて全体で受けとめ、研究集会を終了しました。

上限金利規制／日掛け／保証料問題について考える 多重債務問題についてシンポジウム

サラ金やクレジットなど、いわゆる多重債務者が200万人に及ぶといわれ、個人破産申立件数が2004年に年間20万件を突破し、業務停止処分を受けたアイフルの厳しい取り立てなど、大きな社会問題となっています。

今秋の臨時国会では、上限金利の規制などについての論議が予想されます。

以上のような状況の中で、日本弁護士連合会人権擁護大会に向け、熊本市でプレシンポジウムが開かれました。

これは熊本県弁護士会が主催し、熊本県司法書士会、熊本クレジット・サラ金・日掛被害をなくす会が後援したもので、県労福協や九州ろうきんなど

も出席しました。

被害者、悲痛な叫び

まず冒頭に、2人の方が生々しい被害体験を報告しました。

2人は当初わずかな金を借りたものの、次々に借り換えをさせられ、気付いた時は大きな借金を抱え込んでいたという、悲痛な訴えをしました。

続いて、東京弁護士会の宇都宮弁護士が「上限金利規制」、大分県弁護士会の河野弁護士が「日掛け問題」、宮崎県弁護士会の宮田弁護士が、金を借りる時にあらかじめ差し引かれる「保証料問題」について、その仕組みやか



▲基調報告する宇都宮弁護士

らくりを解説しました。特に日掛け問題（日賦貸金業者）は熊本が発祥の地であることも含め、金を借りる人の心につけ込み、次第に理性を失わせ、借金のアリ地獄に引き込み、金を吸い上げる手口が明らかにされました。

借金の“あり地獄”を作り出す融資に規制を

人間の理性を失わせるサラ・クレ、責任は貸す側に

第2部のパネルディスカッションでは、宇都宮弁護士、遠藤熊本学園大学教授、熊本被害をなくす会の吉田会長、取材した熊本日日新聞社の渡辺記者、熊本市消費者センターの友田所長の5氏がパネリストとして、また熊本県弁護士会・消費者問題対策委員長の寺内弁護士がコーディネーターを務め、問題点を洗い出しました。

新聞広告やCMが助長

■熊本被害者の会は97年に発足し、この10年間で約1万人の被害者の話を聞いてきたが、この問題は人権問題でもある。今年7月に総会を開いたが、近年は高齢者と若年者の相談が増加している実態が明らかになった。理由は若年者に職業の選択が少なく、収入が減っていることと、高齢者は社会保障が切り下げられていることだ。格差社会が問題だ。
■市消費者センターへの相談件数の20%がクレ・サラ、多重債務問題、最近では40代から中高年層が増加し37%を占めている。相談者の3割が無職なのに金を貸している実態だ。相談すれば

助かるのに、一人で悩み苦しんでいる。

■40～50代という生計の担い手の相談が多いのはリストラが原因では…。

■新聞で特集を組んだが取材してみても分かったことは“借りやすいことと家族に内緒”という原因が多かった。借りる時は、おそろおそろだが、次第にマヒしてくる。貸す側が本来ならきちんと審査するのが当然だが、“必ず返しますから、と言うので貸してあげている”と弁明している。業界に自主努力がないので行政で規制を…。

■多重債務者は生活保護世帯より低い収入だ。返済能力がないのに貸しつけ次々に借り換えをさせている。多重債務者は作り出されている。

■消費者教育が弱い。市では昨年だけ



でも90数回、5000人に出前講座などで話をしてきたが、相談窓口があることを知らない人が多い。

■借りやすさも問題だが、マスコミの広告がそれを助長している。

■うちは新聞広告に出しているから安心して利用して、とPRしている。

■貸す側は“アリ地獄”をつくって待っている。被害者は当初そういう目には合わない、と思っているが、借金、返済のための借金が重なって理性を失い、アリ地獄にはまってしまっている。

■上限金利の引下げ、日掛けの廃止、保証料はみなし利息とする法的規制が必要、だが一部の保守議員は抜け道を探している。

などなど、パネリストから多くの問題点が指摘され、この問題の根の深さを改めて知らされたシンポジウムでした。



全労済熊本が第30回通常総代会 新理事長に松原義行氏(自治労)

全労済熊本県本部は7月28日、レンガビル熊本会館で、第30回通常総代会(熊本労済は第48回総会)を開催し、2005年度の事業・決算・監査報告をおこない、承認されました。また2005～2006年度計画の補強策と予算についても、満場一致で承認されました。

事業計画の柱となる5か年計画の重点課題として、①保障設計運動の展開と定着化、②団塊世代の大量退職時代

▶あいつつする松原理事長



を迎えることから離・退職者への対応、③全労済運動の裾野拡大運動などを掲げ、きめ細かい事業推進活動を取り組んでいく方針を決定しました。

なお、8年間理事長を務めた西岡博氏が退任したことに伴い、新たに松原義行氏(自治労)を理事長に選出しました。今春、全労済熊本会館ができたことから、ここを拠点に今後の共済・福祉運動を進めていくことになります。

「生き活き夢くらぶ」の活動状況

独居高齢者や小学生以下の子どもの世話を

今までの活動に加え、今年度から新しい活動に取り組むことになりました。

一つは「買物付き添い・買物代行」サービスです。

独りでの買物ができない方へのお手伝いで、1時間につき300円をいただくことにしています。

二つ目は「一人暮らしの高齢者の見守り」サービスです。

玄関にお元気カードを毎朝提出してもらうことで、お元気かどうかを確認します。

もしカードが出ていなければ、近所の担当者が訪問して確認します。いずれも始めたばかりですが、試行錯誤を重ねながら、実効のあるものにしたいと考えています。



▲独居高齢者と共に「ふれあい昼食会」は毎月開催



▲夏休みは小学生以下の子どもを対象に「遊び場開放」を

小学生以下の子どもたちを対象にした、「夏休み遊び場開放」も4年目を迎え定着しています。

毎回10人以上の子どもたちが喜んで参加しています。

昼間、独居高齢者と一緒に食事をする「ふれあい昼食会」も好評で、毎月第4水曜日は20人ほどが参加し、食事と余興を楽しんでいます。

10月7日(土)には恒例の「中秋の名月・お月見会」を「健康教室」とともにおこないます。

当日は健康教室に引き続き、お茶会・交流会と、夢くらぶにとっては大きな行事です。皆様もお時間があればぜひご参加ください。

今後ともよろしくお願いします。

嘆煙

■日本弁護士連合会のシンポジウムで明らかにされた多重債務の実態に、改めて怒りを覚えた。■日掛け金融を利用した36歳の男性は、車を購入するために金を借りた。返済が1日2000円だったので返せると思ったが、ちょっとでも滞納すると…。そして次々に借り換えを強要され、気がついたら返済のために生活は破壊され、自分はうつ病に、と被害を報告した。年金と月8万円のアルバイト収入で生



活していた60歳の男性は、アイフルやCFJから交互に借り換えをさせられ、150万借りたものが総額で1000万円近く返済させられた、と報告した。■宇都宮弁護士は、いわゆるサラリーマン金融は銀行から2%の利子で借り入れ、利用者に24～29%で貸しつける。融資は自己申告でOK、貸し付けると利益が出るので返済困難な人にもどんどん貸す、放置すると不良債権となるのでアイフルみたいに取り立てに力を入れる、と仕組みを語ってくれた。■アイフルの脅迫取り立てを社会に明らかにした熊本の被害者の会は、まず冷静になること、そしてすぐ相談すること、貸した側は人間としての理性を失わせるやり方をとっている、とにかく相談をと助言する。■国民生活センターは、利用者の9割が利息制限法を知らない、と指摘する。『ご利用は計画的に』と誘うサラ金に手を染めると、返済地獄が待っていることを、職場や家庭でも話していこう。規制を論議する秋の臨時国会を注目したい。

秋の
行楽
シーズン

「長崎さるく博」で ウォーキングはいかがですか？

2006年10月29日(日)まで長崎市内で「長崎さるく博」が開催中です。長崎市内を歩いていると意外と知られていないものがあり、新しい発見があります。ガイドツアーコースも7コース有り、ガイドさんと楽しく歩くことができます。また10月7日(土)～9日(月)は長崎くんちもあります。長崎まで「白いかもめ」でのんびり電車の旅はいかがでしょう？



おすすめは

ザ・長崎

【主催：近畿ツーリスト】
(ホテル宿泊代+往復JR代のセット)
稲佐山観光ホテル利用の場合…
2名1室利用で

大人 (税込)
16,100円～17,100円

熊本発着・1泊朝食付き
夕食付きにも変更可能です。
他にもホテルがございます。
お問い合わせ下さい。

お問合せは・・・



生協 法人 ユニオントラベル熊本

TEL (096) 371-2022
FAX (096) 363-2866

熊本市九品寺1丁目17-9 熊本県知事登録2-34号 総合旅行業務取扱管理者 松永 裕子

熊本勤労者住宅生協

パークマンション田迎～平成けやき通り～



熊本市の
好適地で
新しい暮らし
はじめませんか
好評発売中
〈モデルルームオープン〉
残り少なくなりました

現地モデルルームへ
お越しください。(駐車場完備)

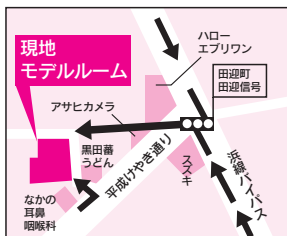
Access
田迎五丁目バス停まで
徒歩
約1分
(約40m)
交通センターまでバスで
計約16分

Shopping
ゆめタウンはませんまで
車で
約2分
(約1,280m)

全邸南向き
平成けやき通りに顔を向けた。

Shopping
サンリブシティくまなんまで
車で
約2分
(約1,030m)

Medical
熊本中央病院まで
車で
約2分
(約1,260m)



お支払い 月 Cタイプ103号室 3LDK 専用庭付35.44㎡(約10.72坪) 販売価格2,130万円 販売ローン年利3年固定1.20%

管理費・駐車場
すべて込みで 月々**58,206円** 頭金**0円**

※上記金額は毎月支払い金額45,506円+修繕積立金10,700円+駐車場(月々)3,000円+ガスセキュリティ費用(月々)500円を全て合計した金額です。

※上記は年12回35年返済の場合での月々の返済金額です。0.4%の日利に限りては返済利率の選択を行っています。このことにより、返済利率の選択により、金利も変更になる場合があります。0.4%の日利及びお支払い額は平成19年02月17日現在のものです。

パークマンション田迎～平成けやき通り～

お問い合わせ TEL **096-370-8067**

FAX 096-370-8068
http://www.park-mansion.com

販売価格
3LDK 2,130万円 (税込) 60
4LDK 2,680万円 (税込) 60

秋津レークタウンクリニック

8月
から
訪問
看護
ステーション
開始

秋津レークタウンクリニックでは、このほど指定を受け8月1日から「訪問介護ステーション」をスタートさせました。これは看護師が、ご自宅を訪問して医療的処置や、リハビリテーション、食事・排泄・清潔の援助、その他の看護サービスをするものです。

訪問看護スタッフが、ご本人やご家族と話し合い、かかりつけ医師と連絡をとりながら、その方に合わせた看護計画を立てて進めていきます。

スタートして1か月、すでに20件近い申し込みがあり、スタッフの皆さんは頑張っています。お問い合わせは

☎096-368-6123



編集後記

5月15日開催の県労福協第40回通常総会以降、各地区労福協の総会も10地区労福協で開催されました。今、いろんな意味で労福協・福祉事業団体にも変革が求められています。その代表的なものが高齢化社会の進行とともに、団塊の世代対策です。この団塊の世代は約800万人といわれ、福祉活動・福祉事業団体活動を中心に利活用を含め推進してきたメンバーです。それだけにこの世代の方々を、引き続き福祉活動の担い手として協力いただくことは非常に重要な課題です。労福協でも、事業団体を含めいろいろな対策を行うことが必要になっています。こんな取り組みをしたらどうかなど、いろいろなアイデアをぜひ労福協に寄せていただきたいものです。(U)